

# 令和5年度上田地域農福連携研修会

令和5年11月20日（月）

13：30～15：00

上田合同庁舎 202・203 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 事例報告

（1）長野県セルフセンター協議会が取り組む農福連携事業について

長野県セルフセンター協議会 須江淳起 氏

（2）こもだ果樹園の農福連携事業について

社会福祉法人みまき福社会 西澤唯治 氏

こもだ果樹園合同会社 菰田央 氏

（3）ウッドベルファームの農福連携事業について

なぎのて 小林博之 氏

就労センター武石ふれあい 橋詰明流 氏

有限会社ウッドベルファーム 鈴木三千夫 氏

4 質疑応答等

5 閉 会

# 東御市、上田市の ノウフク連携2023年

長野県セルフセンター協議会  
農業就労チャレンジコーディネーター  
須江 淳起

## 東信地域のノウフク連携

- 2021年からノウフクコーディネーター 東信は後進地域だったノウフクに興味があっても事業所は人手や車不足
  - 2022年は大規模生産者や長期の施設外がまとまり始める  
上田の新規就農者の多くが果樹でノウフク連携を希望
  - 2023年は振興局や農業支援センターの協力でマッチング進む
- ①シャインマスカットのノウフク連携（東御市）
  - ②大規模トマト生産者に2事業所が作業
  - ③佐久市の出前ノウフク（施設に搬入した野菜の選別）

利用者のやりがいと成長を共に願う

# 上田市ノウフク推進会議

- 農政課、福祉課、農業支援センター、JAとで推進会議
- ノウフク連携のモデルケースを作って見学や研修会に繋ぐ
  
- 2023年度 2つの事例で成果が上がったので報告会を開催
- 福祉事業の後に12/18に生産者の研究発表会で交流
  
- →興味のある事業所と生産者のマッチング

## ①東御市のシャインマスカット みまき福祉会＋こもだ果樹園

上田市、東御市には多くの果樹生産者が人手不足。  
ノウフクで対応できるかが課題  
特に果樹のノウハウ蓄積

## シャインマスカットのノウフク連携

- 2/16：農政部研修で島根県のシャインマスカットノウフクを見学  
試験場とB型事業所の研究で出来る事が実証
- 3/1：東御市のこもだ果樹園さんから福祉事業所に農園の仕事を手  
伝って欲しいと連絡あり島根資料を持って訪問
- 3/3：みまき福祉会とこもだ果樹園を訪問 周年作業受託
- 3/9：松本で福祉課のシンポジウム  
島根の試験場の宮廻さんを招いてシャインマスカットの農福の講演
- 念入りに打ち合わせをして4月～10月作業実施

島根資料  
希望者には配布

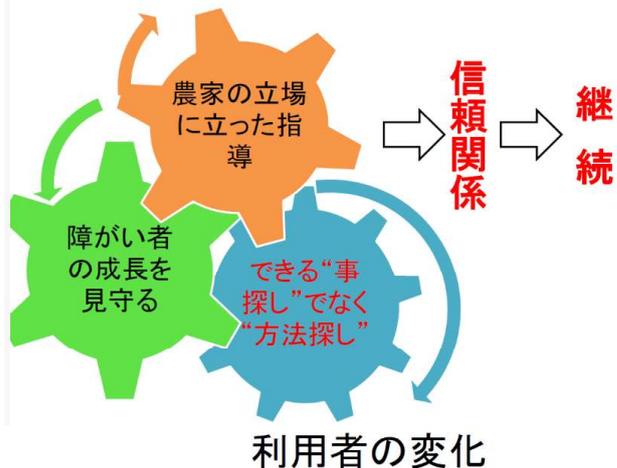


令和5年2月16日 長野県視察資料

特定非営利法人 島根県障がい者就労事業振興センター

農福連携コーディネーター 宮廻克己

## 施設外就労取組みの考え方



1. 会話が多様になった  
(決まった人以外とも交流。社交性)
2. あいさつができるようになった
3. 自分で考えるようになった
4. 日光を浴びて、寝られるようになった
5. 食べるようになった (空腹になる)

## 4) 福祉事業所での事前練習



利用者は**不安軽減**  
職業指導員は、**個々の作業適性**と注意点を事前に把握できた

## こもだ果樹園の年間作業

- 直ぐに出来る作業も結構ある
- 果樹園のすべての作業を経験
- 3月 : 皮剥ぎ 巻きひげとり ◎
- 5~9月 : 草刈 ◎
- 6/中下旬 : 花穂成形 △ 次年度
- 7/中旬 : 袋掛け △ 次年度
- 笠掛 ○
- 8/中旬 : 夏剪定 ○
- 12/中旬 : 冬剪定 ○

# 作業風景

皮むき



房作り



袋掛け笠掛



夏剪定



草



## ブドウ園の作業は難しいが手順を追って

- ブドウ園の作業は難しいが島根のノウフク研究の手法を基に徐々に覚えていきます
- 花穂形成や摘粒は難しいので初年度は練習程度
- 2年目で5, 6割の速度 3年目でパートさん並みを目指します
- 皮むきは数日でかなり出来て次年度は任せてもらう
- 傘掛けは出来たが袋掛けは次年度
- 草刈は若くてパワーがあるのでほぼ一人前
- 報酬は初年度でも草刈等で稼げるので目標には十分

## 刈払い機ライセンス

- 生産者から草刈りの依頼は多い
- 草刈りは危険な作業ですので講習を受けて安全な支度と作業を行いたい
- 1日の作業時間は2時間 30分毎に休憩をとりましょう
- 長野県セルフセンター協議会では福祉事業所の刈払い機講習会受講に補助を行い、テキスト代程度の負担でライセンスが取得可能
- 講習では法令や危険な扱いの説明を受けられます
- 草刈り作業を行う事業所は是非スタッフが講習を受けて事業所内でも安全教育を実施しましょう

## 事前研修と振り返りの会

- こもだ果樹園とみまき福祉会は良いノウハウ連携になる様にスタッフの事前の研修で理解度を上げて利用者に準備します
- 皮むき作業終了時等 時期毎に振り返りの会をもって良かった事、工夫すべき事を話し合います
- 最大の収穫は利用者が喜んで取り組んでくれている事です



## ノウフク工程表 菰田果樹園＋みまき福祉会

- ①出会い：3/1にこもだ果樹園より福祉事業所に業務委託希望
- ②やり易い作業の組み立て：ノウフクミーティング実施
- ③報酬を決める：練習が必要な作業,草刈等早期に習熟可能な作業組合せ  
基本的には出来高精算 慣れてくれば十分な報酬が見込める
- ④安全な職場環境：草刈は柱が多いのでナイロンカッター
- ⑤作業指示はスタッフ：スタッフが先行して研修し利用者に伝える
- ⑥信頼構築に掛かった時間：松本でノウフクシンポジウム聴講共有
- ⑦障害特性に合わせた関わり方：内職よりも農業に適性が高い若手
- ⑧サポーター制度：使用無し。農園と事業所が綿密に提携  
両者が利用者の成長を見守り、事業の進展を楽しむ状況

## ノウフク工程表

- ①出会い：ノウフク興味の事業所を探して生産者につなぐ
- ②やり易い作業の組み立て：会話
- ③報酬を決める：練習が必要な作業,草刈等早期に習熟可能な作業組合せ  
基本的には出来高精算 慣れてくれば十分な報酬が見込める
- ④安全な職場環境：刃物、ゴーグル、穴、溝
- ⑤作業指示はスタッフ：スタッフが先行して研修し利用者に伝える
- ⑥信頼構築に掛かった時間：結論を急がない
- ⑦障害特性に合わせた関わり方：事業所スタッフが熟知
- ⑧サポーター制度：初期の習熟に利用  
両者が利用者の成長を見守り、事業の進展を楽しむ状況

## 事業所の利用者の働く権利喜びを尊重

- 施設外就労、施設内を問わず農業で働く利用者は嬉しそう
- 徐々に仕事を覚えて任されると自信が湧いてくる
- 難しいと思っていたブドウの作業も順序だって取り組めば出来る様になります
- ブドウ園では沢山の仕事を覚えて認めてもらえる事が張り合いです
- 自信が付くとブドウ園作業以外のレストランの仕事も幅が広がっていきます
- 利用者も秋には色々なブドウの味見をさせて頂き楽しみました
- 格安で譲ってもらって自分の仕事の結果をプレゼント

## ウッドベルファーム（大規模トマト） + ナギノテA型と就労センター武石ふれあいB型

- ウッドベルファームは大玉トマト70a カボチャ3ha ブドウ
  - 大規模生産者との長期間のノウハウ連携 管理6か月 果実4か月
  - 人手不足でB品の袋詰めはふれあいに委託
  - 管理作業の出来る事業所を探していた
  - 2022年新設のナギノテA型が試験的に作業体験→脇芽取り、誘引
  - 2023年6か月管理作業に利用者4名とスタッフ1名が従事
  - 結果的には安定して管理が出来て農場に余裕が生まれた
- 
- ナギノテは県内唯一の工賃向上計画を提出しているA型
  - セルフが支援可能

# ナギノテ+ウッドベルファーム

- 誘引作業 期間中安定した管理が出来た
- 2023年度は個人の習熟度に差があるがチームの仕事量は合格

• 5月

9月

10月



## 冬至カボチャの播種、定植



# 就労センター武石ふれあいに業務委託

- 就労センター武石ふれあいはB型事業所
- 4年前から事業所にトマトを持ち帰って袋詰め作業再開
- 規格外を最大200kg袋詰め出来る
- 広い作業場でエアコンもあって快適作業：**出前ノウフク**



## ウッドベルファームの今後の予定

- この冬にナギノテの手伝いでハウス増設→次年度増産
- ナギノテはB型も始めて増員
- ふれあいは作業が増えると内職をカットする必要があるので周年作業が欲しい
- →冬季のホーレンソウ等の野菜栽培を3者で検討
  
- 周年型のノウフク複合チームを目指す

# 上田市の新規就農果樹農家の期待に応える

- 多くの果樹農家からノウフクの希望
  - ノウフク経験の少ない事業所には話だけでは伝わらない
  - 見学会や研修会で知ってもらう機会を作る
  - 2023年11月18日に上小農業青年クラブ活動発表会において今回の2人の生産者がノウフクの報告を予定
- 良いマッチングは芋蔓式につながっていきます

## 佐久市の出前ノウフク 事例

- 友野農園のピーマンを泉共同作業センターが受託
- 友野さんはシルバーさん事業所のオール佐久チームを大切に
- 若手3人でレタス、リンゴも経営 お昼は泉の弁当 野菜の差し入れも
- 日量200kgを大中小に計量 7/下～10/中
- 利用者に人気の作業 3時間で3交代12名参加



## 中込共同作業センターのお試しノウフク

- 見学会で興味を持って頂いた中込共同作業センターさんには農業支援センターのお試しノウフク制度を利用して作業体験を実施
- 友野農園に近く事業所の畑で経験があったので中型ピーマンの収穫をし充分作業が出来る事を確認して次年度から実施予定



## 小諸のフィールネクスト + 東御プラスモア

- ピーマンノウフク見学会で小諸で3事業所が興味  
小諸で出前ノウフクを探す
- 青果業者のフィールネクストさんは佐久穂の生産者から紹介
- 長野県内の生産者の商品を取り扱い
- パッキング→福祉事業所へ委託：プラスモア 次年度拡大予定



## ノウフクマッチングの進め方

- 出来るだけ長期間
  - 利用者の働く喜びや成長を目指して
  - 施設外が難しい事業所には出前型を探す
  - 事業所と生産者の会話を仲立ち
  - 農業の楽しさを伝える 見る、触る、食べる
  - 習熟して徐々に報酬を目指す
- 事業所での野菜づくりも支援：坂城町：未来望 南牧村：すみれ会

ご清聴有難う御座いました

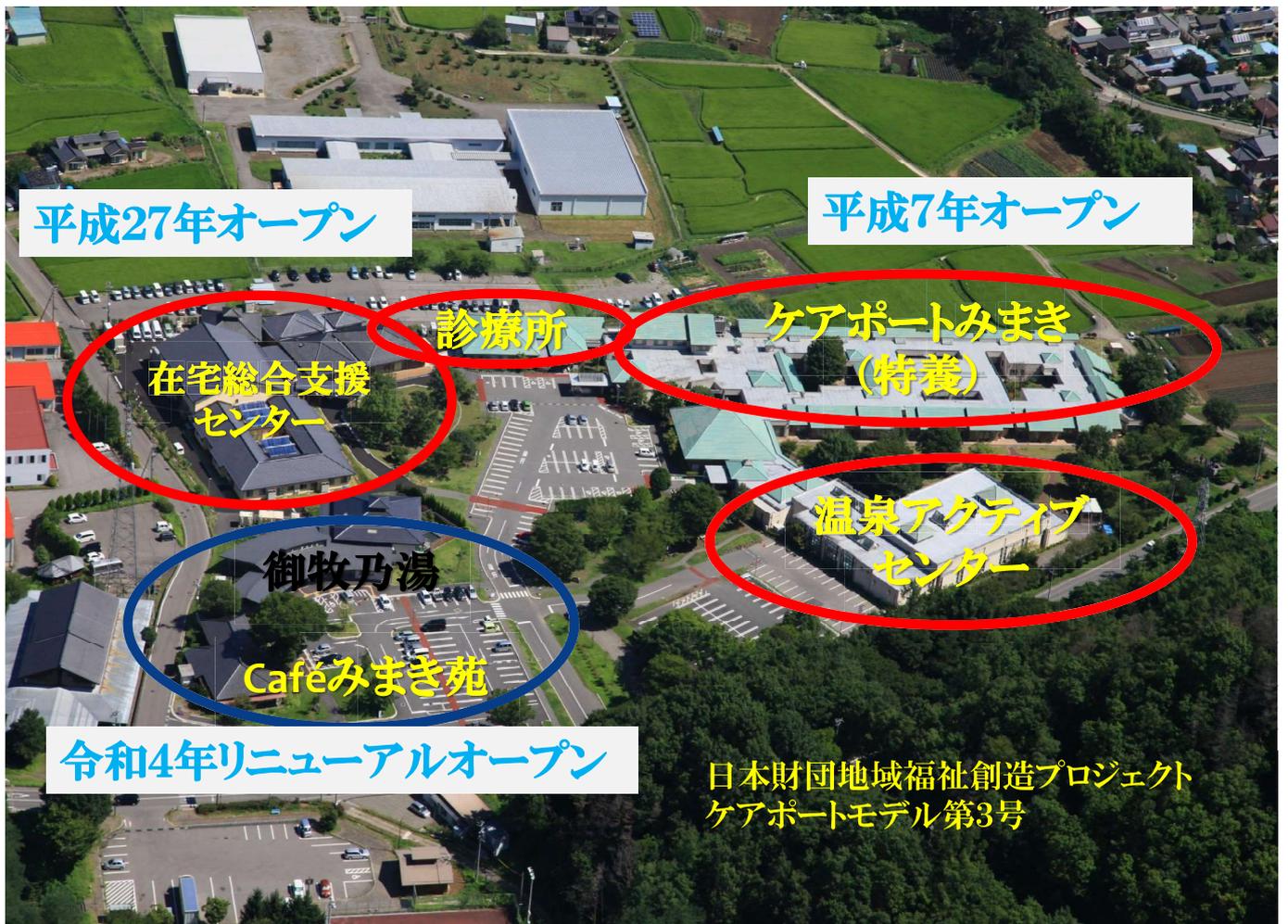
# こもだ果樹園×みまき福祉会

## 農福連携事業の取り組み

社会福祉法人 みまき福祉会  
就労継続支援B型事業所 kiU（喜雨）  
サービス管理責任者 西澤唯治

はじめまして  
ケアポートみまきです





日本財団地域福祉創造プロジェクト  
ケアポートモデル第3号

## ケアポートみまきの紹介

### 日本財団地域福祉創造プロジェクト ケアポートモデル第3号

「保健・医療・福祉」の総合施設 として平成7年4月開所  
現在は「福祉・医療・健康増進」の地域包括ケアの中核を担う施設

- 特別養護老人ホーム（定員66名）5ユニット 全室個室
- ショートステイ（定員20名）2ユニット 全室個室
- ティサービス3か所（定員40名（大規模）18名・9名（地域密着型））
- 認知症高齢者グループホーム（定員9名）
- 居宅介護支援事業所
- ホームヘルパー（訪問介護）・ヘルパー（障がい・居宅・重度訪問・同行援護・福祉有償運送）
- 訪問看護
- 介護予防・日常生活支援総合事業（筋トレ型・ミニティ型）

※指定特定相談支援事業（障害福祉事業・平成28年開設）

※ユニバーサルワークセンターみまき（令和3年開設）

就労継続支援事業所A・B型（多機能型定員各10名）

就労継続支援事業所B型（KiU、Caféみまき苑定員20名・令和5年開設）

健康増進施設（アクティブセンター（プール）トレーニングセンター）

- 認可外保育施設（施設内託児 定員6名）

# 全室個室型特別養護老人ホーム (日本財団モデル事業)

全室個室・ユニット型  
(66床)



5

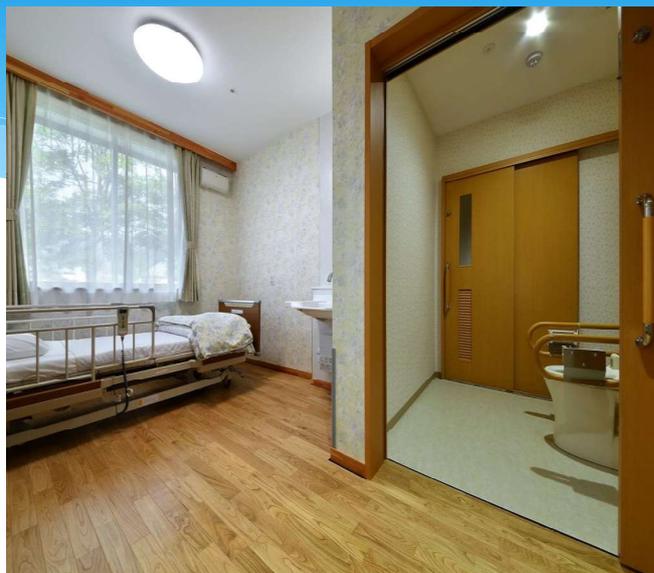
# 在宅総合支援センター みまきの家



H27年2月開設 (在宅拠点施設)

6

ショートステイ20床  
全室個室



7

デイサービスセンター  
定員40名



8

# 温泉アクティブセンター 会員数1000名 (お客様 1日=200~300名)



リラクゼーションプール



25Mプール 6コース



流水プール



9

# トレーニングセンター

【介護予防事業・一般筋トレ】

「健康づくりから介護予防・機能維持を目的」

- ・筋トレマシン
- ・エアロバイク
- ・ウォーキングマシン
- ・パワープレート
- ・体組成計インボディ

※担当  
PT・健康運動指導士  
専任のインストラクター



10

# ユニバーサルワークセンターみまき 就労継続支援事業所(A・B型)



11

## 農福連携による施設外就労 の 取り組み (こもだ果樹園)

やってみたらたのしい!

## 連携開始の経緯

- 令和4年からセルフセンター協議会の須江さんが当法人を訪問、農業指導や農福連携について情報提供をして頂く。
- 令和5年3/3にセルフセンターの須江さんとこもだ果樹園さんを訪問どのような仕事が有るのか打合せ。
- 同日周年作業を受託、今後の展開について協議の場を持つことになる。
- 松本で行われた農福連携シンポジウムを聴講。
- 打ち合わせを重ね4/6より幹の皮むき作業から開始。

13

## こもだ果樹園での作業内容

- ブドウの幹の皮むき作業(3月～4月)
- 剪定枝の片づけ(5月)
- 圃場内外の草刈り(年3回～4回)
- 花穂成形(7月)
- 袋掛け・笠掛け(7月～8月)
- 夏剪定(8月)

14

# ブドウ(幹)の皮むき作業



菰田さんから  
丁寧な指導  
を受けて作  
業に取り掛  
かっています



## 皮むき作業の様子



幹や枝を専用の  
鎌を使い綺麗に  
剥いていきます



枝の高い箇所は台を  
使いながら向きの腰  
がないように行います

木の根元も虫が  
入らないように丁  
寧に剥きます



# 剪定枝の片づけ



冬剪定した枝を  
ビニールシートに  
乗せて片付け

結構な重労働！！

# ブドウ園の草刈り

事前に施設で草  
刈りの練習をして  
臨みました



安全なロープ式の  
草刈り機を使用



# 草刈りの様子1



ワイヤーや網があり絡まない様に慎重に行っています。



# 草刈りの様子2



草刈りの機械が入れない支柱の内側をビーバーで行います。かなり伸びているのでロープだと少し大変でした。





# ツルの剪定作業



指導を受けながら一生懸命作業を行っています。

## 笠掛け・袋掛け作業の講習



菰田さんから丁寧に指導を受けました！！



# 施設内での練習風景

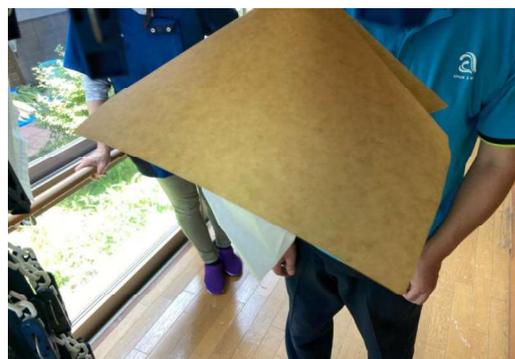
間引いたブドウの房を頂き洗濯ばさみに吊るして練習を行いました。



袋掛けはコツを覚えるのが大変、房を傷めないように優しく中央に行くように掛け、首を隙間の無いように締めるのが難しい！



皆さん頑張って毎日練習しました。



# 袋掛け・笠掛け作業の風景



練習の成果が発揮されチームを組んで手際よく作業が出来ました。



# 夏剪定



養分がブドウの実にいくように余分なツルを選定してます。



# 袋掛け完了の打ち上げ風景



自家製  
ジュースで  
乾杯



バイトの皆さん  
と一緒に



## こもだ果樹園さんの対応



- 振り返りを行いながら次の作業の打ち合わせを行っています。
- 作業工程ごとのマニュアルを作成してくださいました。
- スタッフさんも一緒に参加して話を聴いたり、感想を述べたりしています。

菰田さんから・・・単純作業は一つもありません、一つ一つの作業に意味があります。その時に行った作業をしながらこれからどのように成育していくのかイメージすることが大切ですと話されました。

菰田さんの寄り添う指導・支援により、収穫を迎えブドウ園に行ったスタッフさんの驚きと興奮そしてはちきれんばかりの笑顔がこの一年の成長を見ることができました。

29

## 農福連携のメリット

- 地元農家さんの人手不足解消とまでは行かなくても頼りにされる存在になれる。
- 規格外の作物を販売することで少しでも農家さんの収入に寄与できる。(生産ロスの削減)
- 荒廃地の利活用・・・荒れた田畑を無くすことで人が集まる
- スタッフさんの就労の場所として活躍できる。
- スタッフさんの特性や特徴(強み)を発揮できる場所。
- 誰でもが住み慣れた地域で暮らし続けられる環境を提供し自立支援に繋げることが出来る

**地域社会貢献・・・社会福祉法人の使命**

30

# スタッフさん(利用者)の声

- ・外で働く解放感や農業に携わることで楽しい！！
- ・少しずつ仕事を覚えていけるのでやる気や自信がついてくる
- ・難しいと思っていたブドウの作業も一つ一つ丁寧に教えてもらったので楽しくできた。とても面白かった。
- ・自分の仕事を認めてもらえて嬉しかった。
- ・ブドウがどういう風に出来てくるのか興味津々で大きくなったブドウを見て自分が関わったブドウがこんなに大きくなるなんて驚きだよ！早く食べたい！！
- ・農作業をして作物がこうやって出来るんだ、色々作ってみたいな。
- ・外でもっと色々な仕事をしてみたい

31

## セルフセンター協議会との連携

### 1. 農家さんとのマッチング

### 2. 農業指導

### 3. 安全作業管理

### 4. 情報提供



32

# 今後の課題と展開

## 農福連携

### ※課題

- ・事業所内での指導者の育成・・・果樹園・野菜などの農作業
- ・外作業の得意なスタッフさんの確保・・・元気な利用者
- ・年間を通して安定した仕事の確保・・・地域企業との連携
- ・地元農家さんとの交流

### ※展開

- ・農家さんとのマッチングにより事業を拡張
- ・地域の農家さんとの連携・・・荒廃地の活用
- ・農産物の収穫や余った(規格外)野菜の販売

33

## まとめ

- ・地元農家さんの人手不足の解消とまでは行きませんが、少しでも地域のみなさんのお役に立てればと思います。
- ・地域に出ていくことで農家さんとのふれあいやスタッフさんの遣り甲斐や役割、個々が自信を持てるようになり、成長を感じることが出来ました。今後の自立支援に向けても大変有効な事業活動と考えます。
- ・来年は一年を通して作業出来るようにマニュアルの作成や指導員の育成を行っていきます。

こんな笑顔を  
来年は沢山  
見たい！！



34

# ご清聴有り難うございました！



シンボルマーク  
「笛を吹く少年」

傍らのくぼみに腰をおろしてじっと耳を澄ましてください。

頬をなでる緑の風の音。

遠く千曲川のせせらぎの音。

どこからか草笛のやさしい音色も聞こえてきます。穏やかな光を浴びて人と自然が一体となる時静かな活力がわいてきます。

私たちは

「ケアポートみまき」のシンボルとしてゆたかな時間を過ごす少年に思いを託しました。

# 東御こもだ果樹園

## ぶどう生産における農福連携

東御こもだ果樹園合同会社

菰田 央

令和5年11月吉日



KOMODA KAJYUEN  
TOMI



### 目次

1. 東御こもだ果樹園の紹介
2. 農福連携に取り組むきっかけ
3. 農福連携の実践
4. 振り返りミーティングの実施
5. 今シーズンを通しての総括
6. 課題、今後について



KOMODA KAJYUEN  
TOMI



## 1-① 東御こもだ果樹園の紹介

創業: 2015年4月1日(新規就農)

設立: 2023年2月9日(法人化)

所在地: 長野県東御市祢津

代表者: 右の2人

事業内容:

生食ぶどう生産販売

ぶどう加工品生産販売

主要取引先:

株式会社食文化、株式会社ビッドガーデン、  
株式会社まるおか、T&Nネットワーク株式会社

※ 約9割がインターネット通販

※ その他公式ECサイト<https://www.queenrouge.jp/>



菰田 亜紀子

(こもだ あきこ)

代表執行役員

経営責任者

前職: 耳の聞こえない子供の福

祉施設

趣味: 読書



菰田 央

(こもだ ひさし)

代表執行役員

栽培技術/販売責任者

前職: ネットワークエンジニア

/SE

趣味: 食いしん坊



KOMODA KAJYUEN  
TOMI



## 2 農福連携に取り組むきっかけ

農繁期における作業スタッフの確保は、ぶどう農家が直面する共通の課題です。東御市の農政課では、高齢者を中心とした「支援センター」というぶどう作業支援チームを設けており、地域の方々40~50人を集めてぶどうの農繁期の作業人員を派遣しています。東御市には約350軒のぶどう農家が存在し、支援センターの人員では全然足りていない状況です。

【ぶどう栽培作業】

6~7月: 房切り、摘粒、摘心、草刈り、袋掛け&傘掛け★年間で最も忙しく、最も多くの人手が必要な期間

9~10月: 出荷作業

【ぶどう農家が直面する労働力確保の課題】

短期アルバイト、且つ天候や生育状況により急な休みがあるため、安定した収入が期待できない

毎年同じ人をアサインするのが困難

熟練技術者の育成が困難

**ぶどう栽培のノウハウを福祉事業所に展開し、当果樹園でロールモデル化し、地域に展開できないか？**



KOMODA KAJYUEN  
TOMI



### 3 農福連携の実践 ～今年初めてやってみて～

#### 【みまき福祉会との農福連携における労働条件】

労働時間: 平日10時～12時までの2時間

人員: 利用者3人+職員1～3人

#### 【作業内容】

- |         |             |           |      |
|---------|-------------|-----------|------|
| ① 剪定枝運び | : 4月        | ② 粗皮剥ぎ    | : 4月 |
| ③ 草刈り   | : 5月～9月     | ④ 房切り     | : 6月 |
| ⑤ 摘粒    | : 6月中旬～7月上旬 | ⑥ 袋掛け&傘掛け | : 7月 |
| ⑦ 夏季剪定  | : 8月下旬      |           |      |

④と⑤の作業は、繊細で複雑な作業のため、今年は職員のみで指導を行い、技術を完全に身につけてから、次年度は職員が利用者へ指導が行える体制を作る。



### 3-① 農福連携の実践 ～剪定枝運び～

畑各所にまとめて置いてある剪定枝を入り口付近に集めて来る作業です。  
ブルーシートに剪定枝を載せて持ってきます。



### 3-② 農福連携の実践 ～粗皮剥ぎ～

ぶどうの病虫害防除作業であるぶどうの幹の皮むき作業を行いました。

幹の内側の形成層に傷がつかないように慎重に、  
だんだん慣れてくると  
スピードアップし  
キレイになりました。



KOMODA KAJYUEN  
TOMI



### 3-③ 農福連携の実践 ～草刈り1～

ぶどう棚の乗用草刈り機では刈れない、外周の柱や線があるところや石の周りなどを刈払機で刈ってもらいました。

棚のアンカー線を切らないよう、**ナイロンコード**を使用しました。

機械の使い方になれると、スピードアップしキレイに刈ってもらいました。



KOMODA KAJYUEN  
TOMI



### 3-③ 農福連携の実践 ～草刈り2～

以下のような畑の図面を作成して、草刈り箇所の特定制や指示を行います。

「明日の草刈り、〇〇圃場をお願いします。」

このような感じでLine Works  ユーザーメッセージを送り、メンバーと情報交換を行います。



### 3-④ 農福連携の実践 ～房切り(花穂整形)～

房切り(ぶどうを必要な粒だけ花雷を間引く)作業は、繊細で難しい作業のため、まずは職員に指導し実作業で慣れてもらい、来年度から職員の皆さんが利用者スタッフへの指導ができるようになっていただきます。

利用者メンバーはハサミで巻き弦の除去を行います。



### 3-⑥ 農福連携の実践 ～袋掛け、傘掛け～

果実袋をぶどうに掛けて、傘を掛けます。

袋掛けと、傘掛けは分業して、袋掛けができる利用者は袋掛け、袋掛けが難しい利用者は傘掛けの作業を行います。



🍷 農作業最繁期6～7月終了 🍷

**農繁期に一区切り、当果樹園の巨峰100%ジュースでかんぱ～い👏👏**



一般のアルバイトスタッフに福祉事業所の利用者と職員、みなさん混ざって乾杯して房切りから袋掛けまでの最繁忙期の締めを行いました。



### 3-⑦ 農福連携の実践 ～夏期剪定～

夏期剪定は、シャインマスカットの短梢剪定エリアにて行い、新梢長約1mのところまで新梢を切り落とします。だいたい通路の真ん中ぐらいでザクザクと今年出た新しい枝を剪定鋏で切り落とします。この作業は利用者1人に職員1人がマンツーマンで行い、なかなか順調にはかどりました。



**同じ畑の早熟系のクイーンセブンを味見をして大感動！**



KOMODA KAJYUEN  
TOMI



## 4. 振り返りミーティング

みまき福祉会と同じ敷地内にあるカフェ『みまき苑』で、これまでの作業の振り返りミーティングを開催しました。今後の作業進行に向けて調整すべき点、必要な事項、注意点などを洗い出し、仕事の継続性を高める準備を行います。また、労働報酬(賃金)についての話し合いもここで行いました。利用者メンバーも参加し、意見交換を行いました。



KOMODA KAJYUEN  
TOMI



## 5. 令和5年シーズン通しての総括

### 【利用者の声や反応】

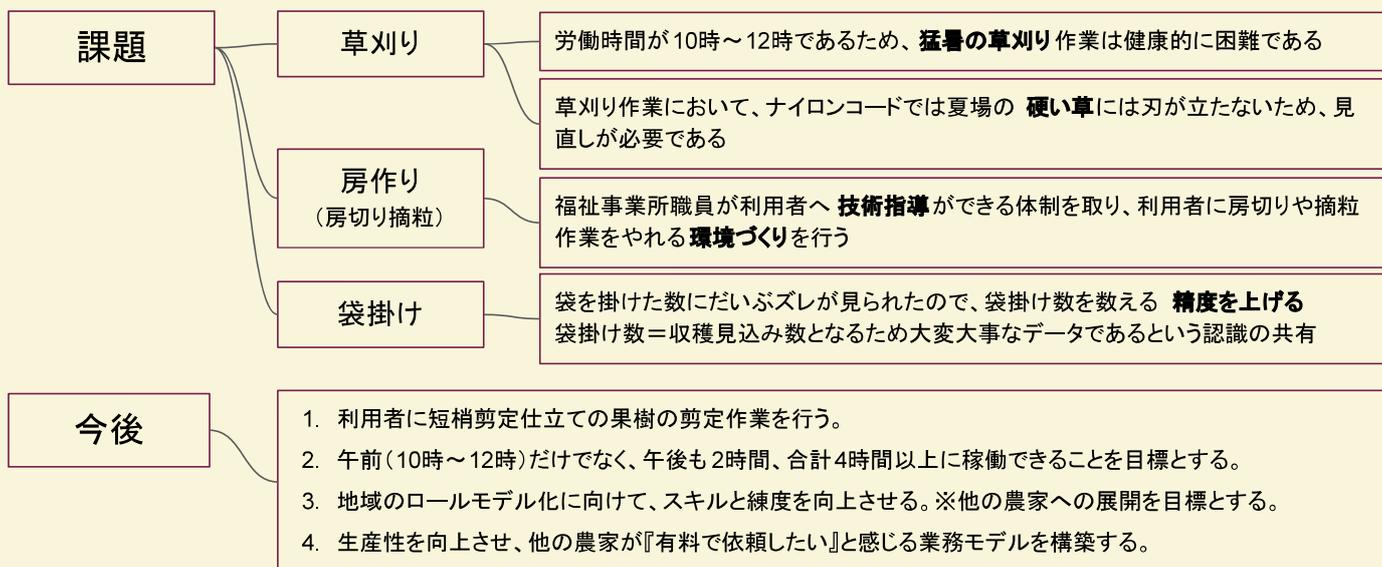
- 仕事が**楽しい**との声をいただきました。
- いままで休みがちだった人が**毎日来るようになった**。
- 体を使う屋外作業を続けているため、**体力がついた**。
- 福祉事業所の**敷地内の草刈り**も利用者で行うようになった。
- **高いモチベーション**で仕事に**集中**している姿はすばらしかった。

### 【まとめ】

一生懸命に働き、自分たちが育てたぶどうを見て、食べて、**感動**を共有することで、ぶどう園への**愛着**が深まり、これが仕事への**モチベーションアップ**や**向上心**につながり、良い循環が生まれているように感じました。この**上昇スパイラル**が、今後も続くように準備したいと思います。



## 6. 課題、今後について



# ご清聴ありがとうございました。

写真提供：長野県セルプセンター協議会 須江淳起様

東御こもだ果樹園にご興味がある方は  
以下をご覧ください。



Facebook



Shop



Instagram



KOMODA KAJYUEN  
TOMI



# ナギノテのノウフク連携

就労継続支援A型

小林 博之

## ウッドベルファームとの出会い

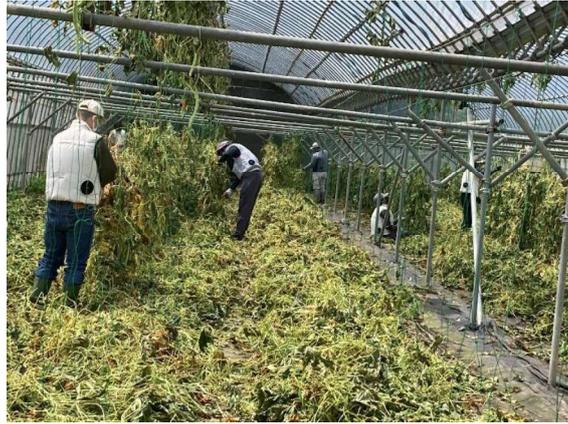
- 2022年よりA型事業所を開所
- 当初は製材所と連携して薪の仕事を予定していたが断念
- ノウフク連携を模索して草刈受注の為にビーバーや畝刈モア購入
- 就労移行のリズムがメルシャンのワイナリーの仕事を続けておりナギノテも所作業や草刈り受注
- 農政課から話がありウッドベルを訪問
- 2022年はインゲン収穫やトマトの選果機械に付く仕事で試したが選果はスピードと精度が必要で難しかった
- セルフセンターの助言で管理作業（脇芽取り、誘引）を試すと出来そうので2023年には本格的に受託

インゲン収穫作業はあまりに量が多すぎて追いつかない

インゲン収穫



片付け



トマト選果  
DVD作成



トマト脇芽取り



## 脇芽取り 体験 9/20

- 脇芽取りは健常者でも親の芯芽を間違っ取ってしまったり難しい作業です
- 試しに10aのハウスをスタッフ2名利用者3名、セルフコーディネーターで取ってもらいました
- 最初は農場スタッフも付いて説明
- 慣れない利用者もいたので3人1グループで確認しながら作業し10aを3時間で全部終了した。予想以上の速さです
- 利用者は慎重ですのでミスは少ないが慣れるまで時間がかかります
- 近くに教えてくれる人が着くと安心してペースが上がります
- 脇芽取りがマスターしたら下葉かき、誘引と上達を目指します

## カボチャ収穫

- 冬至カボチャ3ha 播種も応援 収穫は10/24～26
- リズム+ナギノテで9名参加
- 午後2時間で50a収穫
- 3日間 6時間で1.5ha完了



## ウッドベルファーム

- 70aのトマト誘引と脇芽取り管理
- 5～10月まで6か月 週3日3時間
- 5/18土耕栽培トマトで初日作業
- 最初は慣れるのに若干時間がかかった



## ナギノテ+ウッドベルファーム

- 6/19～はフルにトマトハウスが稼働して毎日作業
- 随分慣れて戦力となっている
- ブドウやカボチャも随時作業に入る



# 農福連携事業報告2023年

就労センター武石武石ふれあい

橋詰 明流

## 就労センター武石武石ふれあい

- 2018年開設 就労継続支援B型事業所
- 主な作業 ブレーキ部品加工、箱折
- ノウフク連携 トマトパッキング 施設外 報酬が高く重要作業



# ウッドベルファームとのノウフク連携

- 開設当時からウッドベルファームから作業を受託
  - 4年前から事業所に規格外トマトを持ち帰って袋詰め作業受託
  - 規格外を最大200kg持ち帰って袋詰め出来る
  - 昨年から作業速度が上がって規格内品も袋詰め実施
  - 数分で行き来出来るので1日数回 集荷納品
- 
- 広い作業スペースで冷暖房完備なので暑い夏も快適

トマト袋詰め



2022年はインゲン袋詰めも実施



## 今後の計画

- ハウス増設でトマトの栽培量増加の予定
- 従事者が増えて有難いが冬のノウフクも必要になる
- 冬どりのホーレンソウ等で周年作業



## 施設外就労

- 飯島農園で周年施設外の援農 年間130日 利用者5名
  - 午前午後作業する日もあり
  - 除草作業、カボチャ収穫、磨き
  - 冬期は堆肥撒き作業
- 
- 利用者は外作業が好きな方で始めてから健康になって休む事は殆どなくなった

ご清聴ありがとうございました

# (有)ウッドベルファームの ノウフク連携2023年

ナギノテA型と武石ふれあいセンターB型

## ウッドベルファームの経営

- 施設生食トマト70a ルネッサンス他  
• ブドウ生食用 ト、ナガノパープル他 70a (シャインマスカット)
- アスパラガス30a
- カボチャ 300a
- 水稲 400a
- 大豆 300a
- そば 100a

## 事業所さんとの作業の選定とすり合わせ

2022年当初、A型事業所ナギノテさんよりウッドベルファームへ連携のための農作業研修の依頼があり、トマト選果の研修に入ってもらいました、しかし精度とスピードの両立が難しく、利用者さんの作業にはなじみませんでした。

そこで2022年秋より脇芽取り、誘引作業を相談して試験的に実施してみたところ出来る事が確認され、本年は4月～10月まで利用者4名とスタッフ1名で毎日3時間、脇芽取作業、紐誘引作業を依頼する事ができました。

1年間 管理作業を着実に行ってもらった結果、作業全般がスムーズに運営出来、トマトの増収、ブドウ等その他の適期作業に着手することができ好結果を得る事が出来ました。



## 武石ふれあいB型事業所

就労センター武石ふれあいB型事業所とは10年ほど前からお付き合いがあったのですが、4年前からトマトを事業所へ持ち帰って規格外品を中心に最大200kg程の袋詰め作業を依頼をするようになり、2022年よりは袋詰め作業にもなれて来たので、A品の袋詰め作業も依頼するようになっていきます。

事業所へ数分で行き来出来る立地なので1日数回の集荷納品ができるため、出前ノウフクの形で事業所の快適な環境下で利用者さんの長時間作業を可能としています。

2024年度はミニトマトの選果ラインを事業所内に設置して箱詰めまで担当してもらう検討をしています。



## 出来高による作業価格の決定

B型事業所さんとは健常者が通常時間当たりできる作業を製品当たりに割り返し単価を決定し、ある程度の作業労賃をお支払いすることができ、依頼事業者も労働力不足の解消につなげる事が出来るました。



## 集中的労働の依頼

カボチャの収穫作業など作業を大勢で集中的に行う必要がある場合非常に助かりました。1日50aほどこなしてもらいました。



## 今後に向けて通年でのお付き合いを計画検討中

- 夏場のトマトだけでなく冬にも仕事を提供したい
- 冬どりの美味しいホーレンソウその他を露地、ハウスで組合わせて収穫作業及び持ち帰り型で下葉とり等袋詰め作業ができないか検討中



## 農家と福祉事業所のGOODタッグ

- ▶ 依頼できる作業を見つけ、お互いがウィンウィンの関係を築けるよう、利用者さんも楽しく取り組める農作業を模索し、生産者も利益を上げられる。そんな取り組みの可能性が広がっていると感じています。ぜひ皆さんもこれを機会に取り組まれることをお勧めします。

- ▶ ご清聴ありがとうございました